

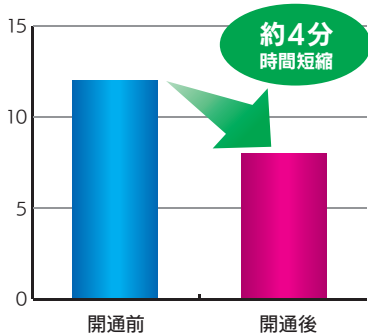
県南の玄関口の活性化へ!

— 取手駅を中心とした環状道路(上新町環状線)の整備 —

取手駅を中心とした環状道路を整備
市中心部に集中していた自動車交通が
分散化され、市街地における車両や歩行者
の安全で円滑な交通の確保や、地域の活
性化が期待されます。

◆環状線の開通により市街地内の移動時間が短縮

- 環状線の全線開通前後における取手市白山7丁目交差点から青柳1丁目交差点までの移動時間を比較
- 開通前の11分が開通後に7分となり、約4分の時間短縮が図られた

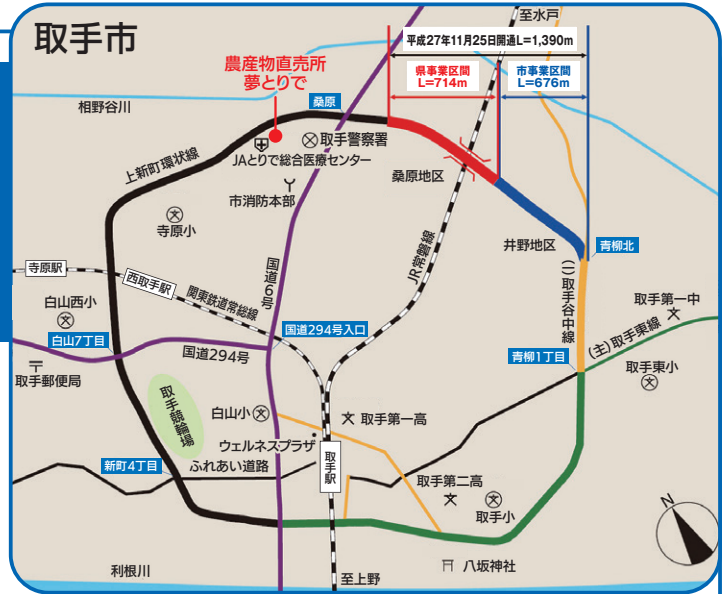


◆生活道路(抜け道)の交通量が減少し、歩行者の安全性が向上

- 井野地区や桑原地区における生活道路の自動車交通が上新町環状線に転換し、歩行者の安全性が向上
- 生活道路の交通量が3~4割減少(通勤時間帯における交通量調査より)



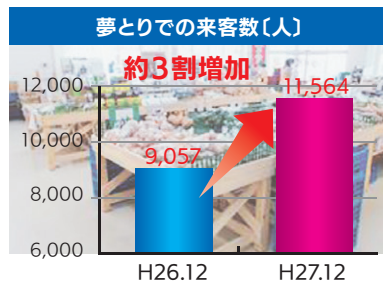
開通した井野工区



上新町環状線の全線開通によって沿道の集客施設が活性化するとともに、新たなまちづくり構想が動き始める

◆農産物直売所「夢とりで」の客数が約3割増加

※月間実績の対前年比 (H26.12-H27.12)



◆新たなまちづくり構想の始動

- 取手市では、環状線沿線の桑原地区について、大規模な商業・業務施設を核とした新たなまちづくりを目指すことなど、地域のさらなる活性化に期待(「とりで未来創造プラン2016」より)



▲上新町環状線の桑原陸橋の完成により、市街地内の移動時間が短縮。

今後は、茨城の南の玄関口として来県される方に喜ばれるような道路の整備をさらに期待しています。



大根利交通自動車(株) 業務部運行部 課長 長塚 茂氏

環状線の完成で市街地の車の流れが変化